

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



# 「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 6月24日(月) 発行人：校長 森内 秀学

## 長崎県学力調査の結果について

学習指導要領が求める基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力がどれくらい定着しているのか、過年度の課題がどれくらい解消されているのか、それらを検証するために行われた長崎県学力調査の結果が、先日届きました。今年度の4月18日に実施したものです。県内の状況については、新聞等でご存知の方も多いことでしょう。

この調査対象は、国語と算数が5年生、理科が6年生です。結果は次のとおりでした。

	5年生		6年生
	国語	算数	理科
長崎県 平均正答率	57.8%	68.6%	53.5%
<b>時津小 平均正答率</b>	<b>61.5%</b>	<b>73.5%</b>	<b>60.3%</b>

県の平均も、目標値（正答率60%）も越えましたが、課題も見えてきました。

**国語**では、文章の中の重要な語や文を見付けたり、要約したりする点に課題が見られました。これは、例えば、話を聞いても大事なところがよく分かっていないということです。

**算数**では、図形の構成要素に対する理解に課題が見つかりました。これは、例えば、三角形の面積の求め方は「底辺×高さ÷2」と覚えているのに、図形を見たときに、どこが「底辺」で、どこが「高さ」なのか見つけられないということです。

**理科**では、状況は理解していても、理由や根拠を理解していないことが分かりました。これは、例えば、メダカと植物の、それぞれの成長過程は理解していても、互いの似ているところや違うところ、そう考えた理由などを尋ねると、答えられないということです。

これらの課題は、全県的な課題でもあり、全学年の課題でもあります。学校では、課題を焦点化し、繰り返し取り組めるよう工夫していく計画ですが、ご家庭でも、お子さんにかかわる際、こういった課題を意識してみてはいかがでしょうか。



## 改めて平和を考える

6月17日から始まった心を見つめる教育週間に合わせ、今年も2階生活科室には、原爆に関するパネルが設置されました(左)。

また、「永遠の会」の黒板さんと松尾さんをお招きし、被爆体験を通して、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを語っていただく場も設けました(右)。

ある2年生の感想に、こう書いてありました。「せんそうはこわくなりました。せんそうはやめて、みんなであそぼうよ。」そのとおりですね。

